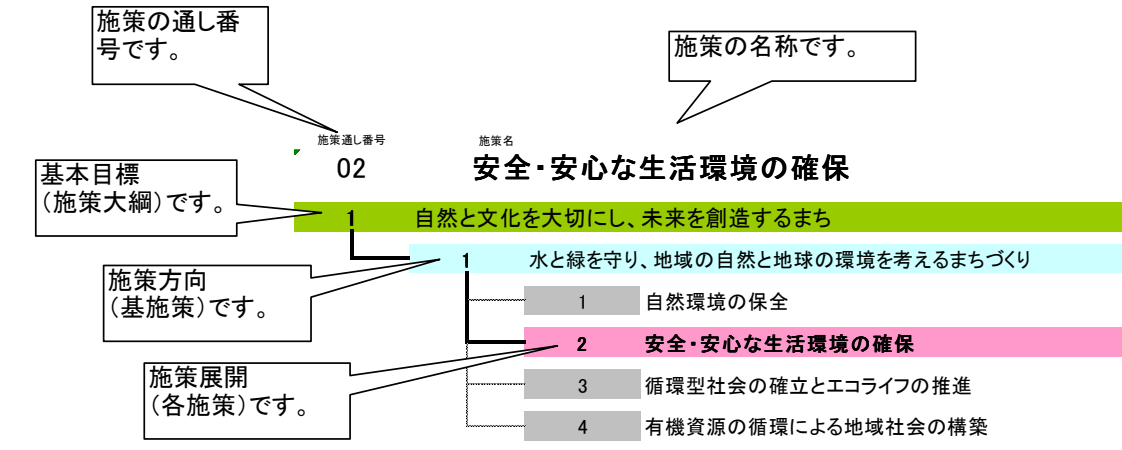


# 第2章 施策の体系別基本計画

## 計画の見方



**めざす方向(施策の目的)**

施策の目指す方向 (施策の目的) です。

市民が良好な環境のもとで健康に暮らすことができる安全な環境づくりを目指す。

**■ これまでの取り組み**

- 河川の水質検査
- 地下水検査
- 中条測定局における各種大気汚染物質常時観測
- 大気汚染定点監視12地点

**■ 現状**

法律・条例等に基づき、市民の安全と健康の確保のため規制・指導及び環境監視に努めている。

**■ 市民の声**

- 事業所、行政、市民等の相互協力による環境づくり
- 環境保全のための公的融資や補助金制度の充実
- 環境規制や行政の環境関連施策に関する情報提供、環境教育の実施
- 有害物質に対する立入検査等、監視体制の強化
- 危機管理体制の強化

**■ 課題**

- 監視・測定体制の充実
- 環境関連施策に関する情報提供、環境教育の実施

施策に対するこれまでの取組状況です。

施策に対する現在の状況です。

施策に対する市民の声や、要望などです。

施策を実行する上での課題などです。

施策を実現するための具体的な手段です。

**■ 施策の展開**

- ・法律・条例に基づき、工場・事業所に対する規制指導や環境監視の強化
- ・生活排水対策の充実による河川の水質汚濁の改善
- ・市民及び事業者への環境保全意識の啓発

【関連施策】

- ・居住地域の環境整備

施策の成果を測定するための指標です。

成果指標の将来目標値です。

施策に対する成果指標の説明で、指標の意図や考え方などです。

**施策に対する目標**

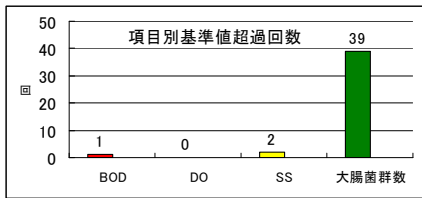
指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
環境基準(河川)超過回数	回	42	20	6	0	年間基準超過回数0を目標とする

参考となるデータや将来目標のグラフなどを載せています。

**■ データ**

○環境基準(河川)超過回数(平成15年度)

検査項目	基準超過回数
BOD(※1)	1
DO(※2)	0
SS(※3)	2
大腸菌群数	39



※1 BOD(生物化学的酸素要求量)とは、好気性バクテリアが、水中の有機物を酸化分解するのに必要な酸素量で、水質汚濁の指標の1つ。

※2 DO(溶存酸素)とは、水中に溶解している酸素のことで、一般にDOが2mg/リットル以下になると悪臭が発生するといわれている。

※3 SS(浮遊物質)とは、水中に懸濁し、水にごりの原因となる物質のこと。

専門的な用語などの説明です。

